

平成 30 年 4 月 17 日

「環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定」に対する代表質問

無所属の会 福田 昭 夫

民進党の福田昭夫です。私は無所属の会を代表して、「環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定」について、質問をいたします。

安倍総理はかねてより TPP は成長戦略の要であり、切り札であると訴え続けておりました。しかし、TPP はトランプ大統領が安倍総理の説得の努力も虚しく、脱退を表明し、12 か国での TPP が絶望的になりましたが、11 か国での締結を急ぎ、その結果、22 項目が凍結され、その締約国全体の経済規模も、経済連携のレベルも当初と随分変容し、取るものがますます取れておらず、守るべきものがますます守れなくなっている問題の多い内容となっています。

TPP については、そもそも先進国にとっては益のない協定だとされています。

米国のタフツ大学が 2016 年 2 月に出した「TPP の現実コスト」
雇用喪失、収入低下、格差拡大。によると、「全体では 77 万 1000
人の雇用喪失、そのうち米国だけで 44 万 8000 人、日本が 7 万
4000 人の雇用喪失となる。

また、すべての国において格差が拡大する。労働者の購買力の
低下は総需要を低下させ、経済成長を減速させる。」

と指摘されています。トランプ大統領はこれを知っていて TPP か
ら離脱したのではないのでしょうか。

もし再交渉を求められたら大変なことになると思います。

(日米関係、安倍総理—トランプ大統領の間の信頼関係について)

さて、安倍総理は訪米中であり、明日にでもトランプ大統領
との首脳会談を行い、三回目のゴルフを予定されていると仄聞し
ています。表面上はお二人の関係は深まっているように見えるか
もしれませんが、しかし実際には、日米首脳間、政府間の信頼は
深まるどころか、会談を重ねるごとに溝が広がっているようにしか

思えません。

TPP 脱退は公約だったので仕方ないとしても、先月には、トランプ大統領自らが「同盟国には制裁を課さない」とツイートしていた、鉄・アルミに対する輸入制限措置が、主要同盟国の中で唯一 日本が制裁対象となったまま発動されました。米国の鉄の輸入の5%しか占めない、しかもアジア最大の同盟国である日本が除外されてなかったことは、明らかに不自然であり、日米関係を考える上で深刻に受け止めるべきではないですか。外務大臣の見解を求めます。

安倍総理は「日米同盟はこれまでになく強固だ」と何度も答弁されてきましたが、本当にそうでしょうか。今回トランプ大統領は制裁発動の記者会見で明らかに総理の名前を引いて、「『こんなに長く、騙せたなんて信じられない』と彼らは笑みを浮かべている。そういう日々は終わる」と発言しました。

国内向けのアピールという見方もありますが、いずれにせよ、まるで脅しであり、同盟国である我が国に対する言いぶりとしては、失礼極まりありません。

安倍総理はトランプ大統領との間に、本当に確たる信頼関係があるのでしょうか、また、今回日本を制裁対象としたことに対して、大統領に総理自ら、面と向かってきちんと抗議すべきだと思いますが、外務大臣はどうお考えですか、外交ルートを通して、今回の制裁措置に関して、正式に抗議をされたのかお伺いします。

(通商交渉の失敗)

今年3月16日に河野外務大臣はカウンターパートナーであるティラーソン国務長官が解任された直後ではありましたが、予定を変更することなく訪米、マクマスター安全保障担当大統領補佐官やライトハイザー通商代表と会談し、鉄・アルミを輸入制限措置の

除外対象にすることについて働きかけてこられました。
世耕経産大臣も働きかけを続けてこられました。

にもかかわらず何故このような結果になったのか、
ひたすら例外扱いを求めるのではなく、EUのように、保護主義は
認められないと、毅然とした態度をとった方がよかったのでは
ないでしょうか、外務大臣、経産大臣にお伺いします。

総理のリーダーシップに振り回されていることもあるでしょうが、
安倍政権では、拉致問題ではストックホルム合意で北朝鮮に
騙され、パリ協定は出遅れ、トランプ大統領誕生に面食らい、
TPP ではしごを外され、ロシアには北方領土での進展を見るところか北方領土の軍事拠点化を強化され、北朝鮮非核化・ミサイル開発問題では、日本はカヤの外で米中韓が対話にハンドルを切る、など、安倍総理なのか外務省なのか、どちらが原因かわかりませんが、ことごとく読みが甘く、日本政府の外交力が落ちてきているのではと危機感を感じざるを得ません。

外務省の情報収集能力、交渉能力の相対的な低下を感じますが、

河野外相は問題を感じて、いられるのかお伺いします。

(おわりに)

おわりに一言申し上げます。英国の政治家が「絶対的な権力は絶対腐敗する」と名言を残しました。

国民の貴重な財産である公文書のねつ造、改ざん、隠蔽等が次々と明らかになっています。

「天知る・地知る・我知る」との名言もあります。

どんなに繕ってみても、森友・加計学園問題の真実を知っているのは、安倍総理と昭恵夫人でしょう。

「安倍独裁政権の腐敗極まれり」です。

米国やロシアとの首脳会談を花道に総辞職する事が、本人の為でもあり、国民と日本の為だと申し上げて質問を終わります。